

## 第40回 立山杯北日本招待少年サッカー富山大会 開催要項(案)

1. 主 旨 県内の地域トレセンのサッカーのレベル向上を図るとともに友情の交歓を深める。
2. 名 称 第40回立山杯北日本招待少年サッカー富山大会
3. 主 催 (公社)富山県サッカー協会 富山サッカー友の会 北日本放送 北日本新聞社
4. 後 援 射水市(予定)
5. 期 日 2022年11月26日(土) ~ 11月27日(日)
6. 会 場 オリバースポーツフィールド射水(射水市海竜町)
7. 参 加 費 10,000円  
参加費は下記、口座に振り込むこと  
口座名 富山サッカー友の会  
カ ナ トヤマサッカートモノカイ  
銀行名 北陸銀行 上滝支店  
口座番号 4116771  
※振入は必ずチーム名で振込むこと
8. 参加チーム 新川地区選抜、富山地区選抜A、富山地区選抜B、射水市選抜、高岡市選抜  
砺波地区選抜、富山県女子トレセンU-11、カターレ富山U-11
9. 参加資格 (1) 各チーム5年生以下の選手で編成されていること  
(2) 各チームの責任者は参加選手の保護者の同意を得ていること  
(3) 参加者はスポーツ安全保険等に加入済みのこと  
通年で活動していないチームは、参加チーム単位で加入すること  
(4) ユニフォームは異色のものを2着用すること  
(FP・GKそれぞれ異色のものを2着用すること)
10. 競技形式 (1) 参加チームを2ブロックに分け予選リーグを行い、同順位チーム同士で順位決定戦を行う  
(2) 予選リーグでの順位決定方法は勝ち3点、引き分け1点、負け0点の勝点により勝点の多い順で決定する。なお、勝点が同一の場合は以下の項目に従い順位を決定する  
1. 全試合の得失点差(総得点-総失点)  
2. 全試合の総得点  
3. 当該チーム同士の対戦成績(勝敗)  
4. 1.~3.の全項目において同一の場合は、抽選により決定する  
(3) 試合時間は40分(20分ハーフ)とし、ハーフタイムのインターバルは10分とする  
規定の競技時間内に勝敗が決しない場合は予選リーグにおいては引き分けとする  
順位決定戦においては、PK方式により勝利チームを決定する。  
ただし、決勝は10分の延長戦を行い、なお決しない場合はPK方式により勝利チームを決定する。なお、延長戦に入る前のインターバルは5分、PK方式に入るまでのインターバルは1分とする。
11. 競技規則 (公財)日本サッカー協会競技規則(JFA8人制サッカー競技規則)による
12. 競技のフィールド  
(1) フィールドの長さ(タッチライン)は68m、幅(ゴールライン)は50mとする

- (2) ペナルティーエリア等：ペナルティーエリア 12m  
     ペナルティーマーク 8m  
     ペナルティーアークの半径 7m  
     ゴールエリア 4m  
     センターサークルの半径 7m
- (3) ゴールポストの間隔は5m、クロスバーのグラウンドからの高さは2.15mとする  
     ※ゴールは競技者が負傷しないように安全に設置しなければならない
- (4) 交代ゾーン：自由な選手交代のため、ベンチ側のタッチラインのハーフウエーに6mの交代ゾーンを設ける（ハーフウエーラインを挟んで3mずつ）

### 13. 試合球 4号球とする

### 14. 競技者の数および交代

- (1) 1チーム8人の競技者によって行われる。チームの競技者のうち1人はゴールキーパーとする  
     本大会においては、8人に満たない場合は試合を開始しない。試合中に怪我等による人数不足により8人に満たなくなった場合は、そのまま続行する。
- (2) 試合に登録できる選手に制限を設けない。交代は登録選手とし、自由な交代を適用する。（一度退いた競技者も再び出場出来、何回でも交代可能とする。）
- (3) 交代の手続き
  - ① 交代については、主審の承認を得る必要はない
  - ② 交代して退く競技者は、交代ゾーンからフィールドの外に出る
  - ③ 交代要員は、交代ゾーンからフィールドに入り競技者となる
  - ④ 交代はボールがインプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず行うことができる  
     注) ただし、交代で退く競技者が負傷している場合は、主審の承認を得た上でどこからフィールドを離れてもよい
- (4) ゴールキーパーは、事前に主審に通知した上で、試合の停止中に入れ替わることができる

### 15. 競技者の用具

- (1) 競技者の用具については、(公財)日本サッカー協会「サッカー競技規則」およびユニフォーム規程に従うものとする。  
     但し、ユニフォームについては下記の通りとする。
  - ① 本競技会に登録した正・副2組のユニフォーム(シャツ、ショーツ及びソックス)を試合会場に持参し、いずれかを着用しなければならない。
  - ② 正・副の2色については明確に異なる色とする。
  - ③ ユニフォームのデザイン、ロゴ等が異なっても主たる色が同じであれば着用することが出来る。
  - ④ 主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断した時は、両チームの立ち合いのもとに、その試合のユニフォームを決定する。（当該チームで決められない場合）
  - ⑤ 前項の場合、主審は、両チームのユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ及びソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。（当該チームで決められない場合）
  - ⑥ ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。
  - ⑦ アンダーシャツの色は問わない。ただしチーム内で同色のものを着用する。
  - ⑧ アンダーショーツおよびタイツの色は問わない。ただしチーム内で同色のものを着用する。
- (2) 選手番号については、試合ごとに変更しても構いません。  
     ただし、試合中の選手番号の変更は、認めない。  
     14.(4)の場合は、この限りではない。

16. 審判員 1人審判で行う(予備審1名) 全試合、富山サッカー友の会審判委員会で行う
17. 懲罰 (1) 本大会において、退場を命じられた競技者は、次の1試合に出場できず、それ以降の処置については、本大会審判委員会決定する。  
(2) 本大会において、異なる試合において警告を2回受けた競技者は次の1試合に出場できない。なお、予選リーグにおける警告処分は、決勝トーナメントへは持ち越さないものとする。
18. 表彰 (1) 優勝チームには(公社)富山県サッカー協会から表彰状、富山サッカー友の会から立山杯、北日本放送から表彰状、KNB杯を授与する  
(2) 準優勝チームには(公社)富山県サッカー協会から表彰状、北日本放送より表彰状を授与する。  
(3) 3位チームには(公社)富山県サッカー協会から表彰状、北日本放送から表彰状を授与する。
19. 経費 大会にかかる経費は主催者で負担するが、会場に至る往復の交通費及びその他大会参加に必要な経費は参加者負担とする。
20. その他 (1) 試合中に発生した負傷、疾病は大会本部で応急手当はするが、その後の治療に関しては各チームのスポーツ保険にて対処すること。  
(2) 取り替え式ポイントシューズの使用を禁ずる。  
(3) 試合時間60分前に、大会本部へ当日メンバー表を2部提出、着用するユニフォームは主審が決定する。  
(4) 特別の場合を除き、雨天決行とする。